

MHF® 4L Connector

Part No. Plug: 20565-001R-** Receptacle: 20449-001E, 20449-001E-**, 20579-001E-**

Instruction Manual

8	S22073	February 17, 2022	N. Miyashiro	K. Ikeshita	Y. Hashimoto
7	S22001	January 5, 2022	Y. Hayashi	K. Ikeshita	M. Takemoto
6	S18733	November 19, 2018	Y. Imaji	K. Yufu	K. Yotsutani
5	S18036	January 17, 2018	M. Nomoto	S. Taguchi	K. Yotsutani
Rev.	ECN	Date	Prepared by	Checked by	Approved by

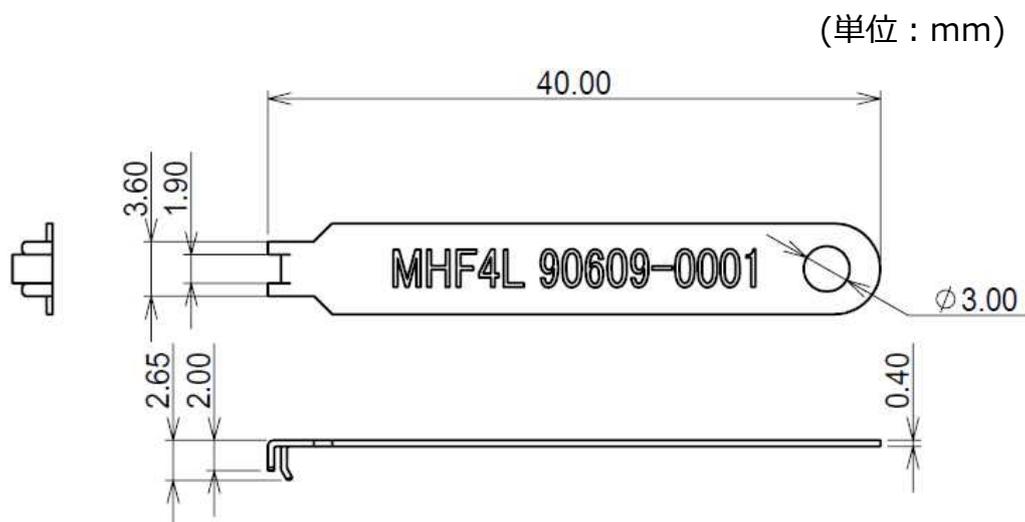
弊社、MHF 4L connector の取り扱いに際して、本コネクタを安全に御使用頂くことを目的としコネクタの挿入・抜去の手順及び注意点を記述致します。

【コネクタ型番】

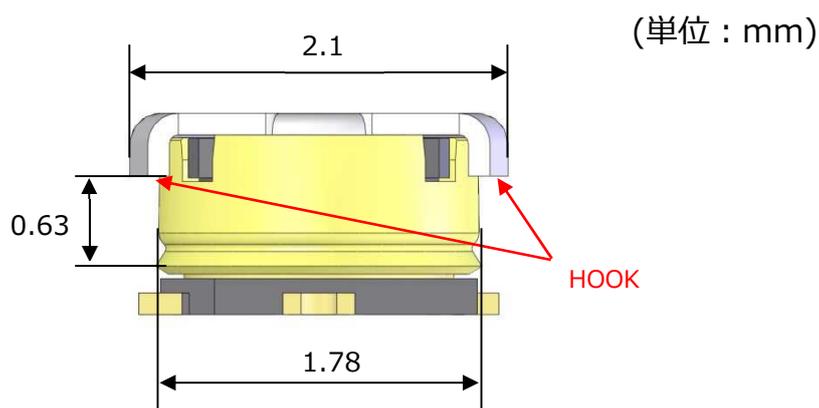
MHF 4L Plug	20565-001R-**
MHF 4 Receptacle	20449-001E, 20449-001E-**
MHF 4L Receptacle	20579-001E-**

【挿抜 JIG について】

挿抜を行う際、ケーブルコネクタ首部へのストレスを避ける為、下図形状の様な JIG (Fig.1) を御使用下さい。ケーブル側コネクタには JIG 専用の引っ掛け形状が設置されています。(Fig.2)



(Fig. 1) 推奨 抜去 JIG



(Fig. 2) 抜去 JIG 引っ掛け形状配置図

【コネクタ挿入手順】

1.手で直接嵌合する場合

① ケーブル側コネクタの保持方法

Fig. 3 のようにケーブル側コネクタのケーブルを持ちます。

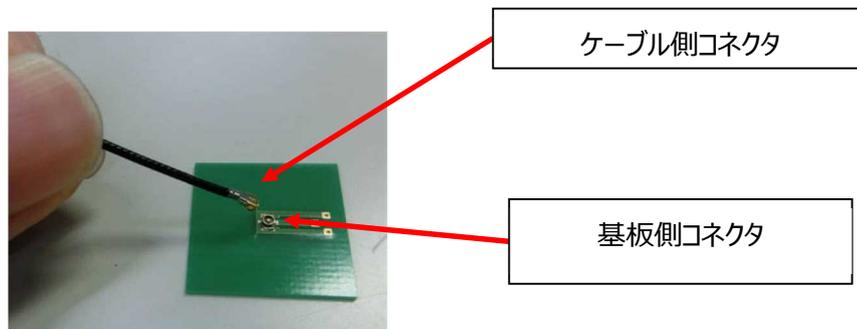


Fig. 3

② ケーブル側コネクタのセット方法

Fig. 4 のように、基板側コネクタとケーブル側コネクタをセットします。セットしたら前後に軽く動かし、動かないことを確認します。



Fig. 4

③ 嵌合方法

Fig. 5 のように、ケーブル側コネクタのセンターを真上から押し、カチッという音がすると嵌合完了となります。

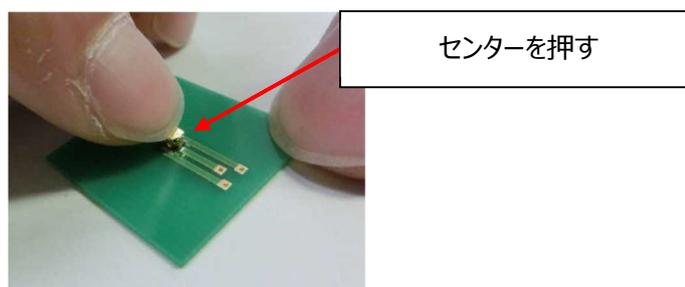


Fig. 5

2.挿抜 JIG で嵌合する場合

- ① ケーブル引き出し方向から治具を基板と平行にスライドさせてコネクタへセットします。(Fig. 6-a)
- ② ストッパーに当たるまで治具をスライドさせプラグコネクタ全体を抱えるようにします。(Fig. 6-b)
- ③ 基板(基板側コネクタ)に対し垂直に治具を押し、コネクタを嵌合します。(Fig. 6-c)

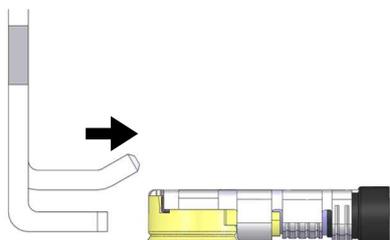


Fig. 6-a

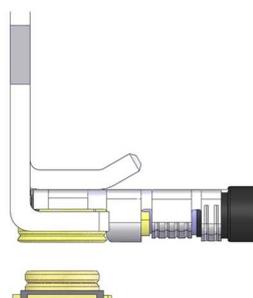


Fig. 6-b

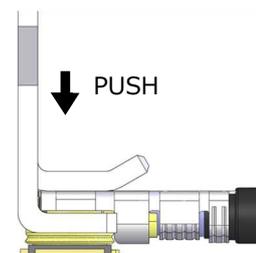


Fig. 6-c

注意事項

必ずケーブル側コネクタが基板と平行になるようにセットしてください。

Fig. 8 のように曲がったまま嵌合するとコネクタの破損の原因となります。

基板と平行状態での嵌合
<OK>

基板と平行ではない状態での嵌合
<NG>

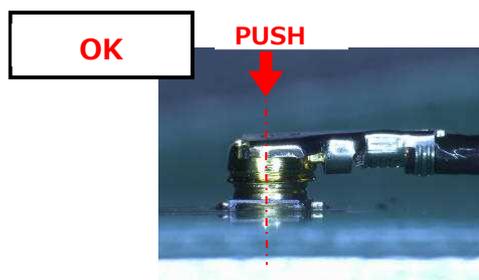


Fig. 7

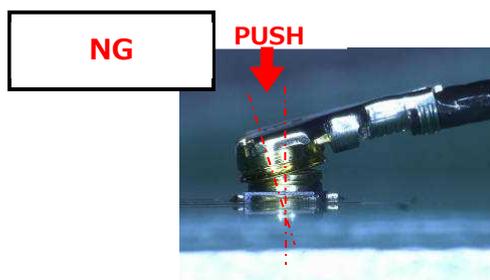


Fig. 8

【コネクタ抜去手順】

- ① ケーブル引き出し方向から治具を基板と平行にスライドさせてコネクタへセットします。(Fig. 9-a)
- ② ストッパーに当たるまで治具をスライドさせプラグコネクタ全体を抱えるようにします。(Fig. 9-b)
- ③ 基板と垂直に治具を引き上げ、コネクタを抜去します。(Fig. 9-c)

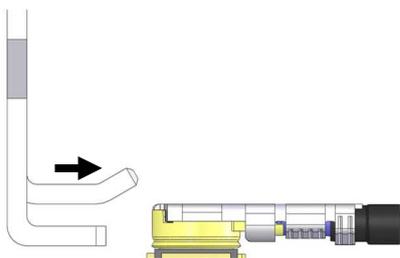


Fig. 9-a

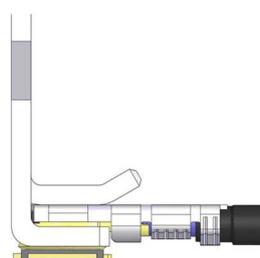


Fig. 9-b

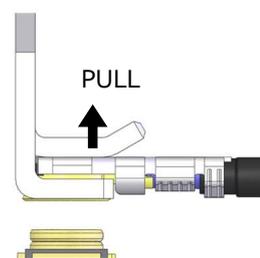


Fig. 9-c

【注意事項】

治具は必ず基板と垂直に引き上げてください。(Fig. 10)

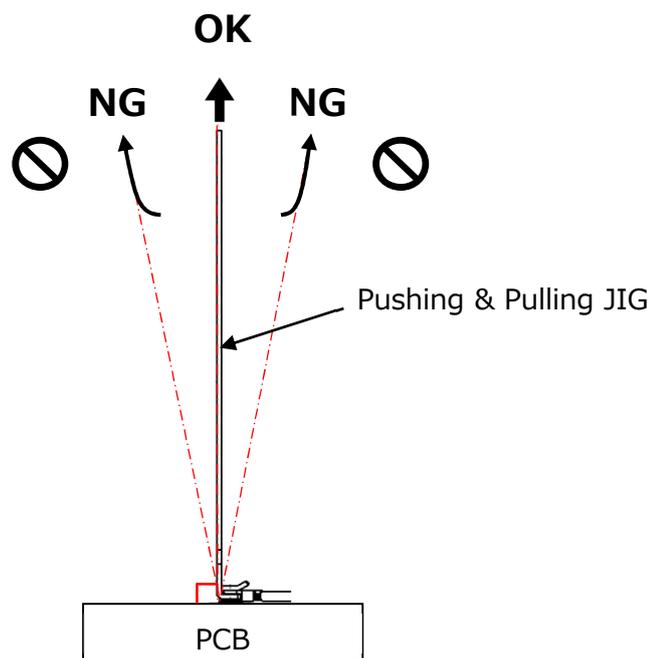


Fig. 10

【コネクタ取り扱いの注意】

Fig. 11 のように、矢印方向に常に力が加わるようなケーブルの引き回しを行うと、嵌合外れやコネクタの破損等の恐れがありますので、ご注意願います。

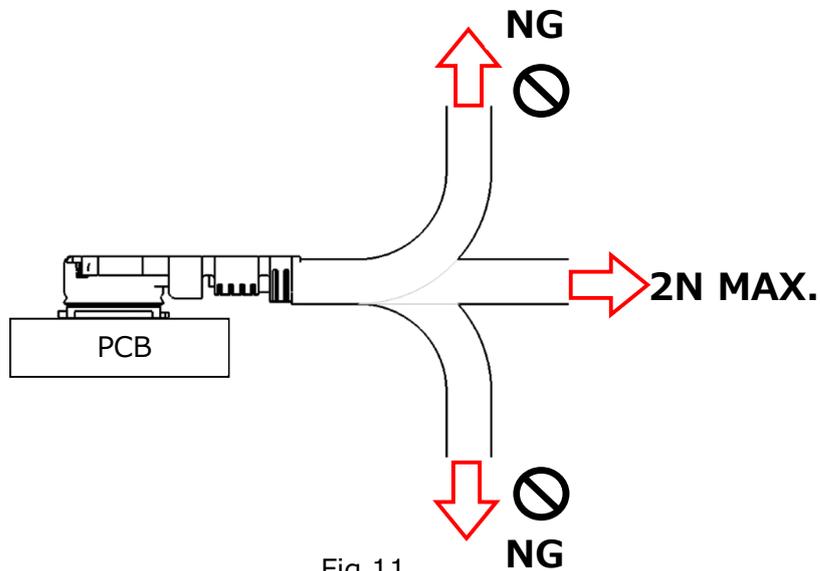


Fig.11

【リール取り扱いの注意】

Fig. 12 のように、過度な力が加わるようにリールを掴むと、コネクタの変形や破損等の恐れがありますので、ご注意願います。



Fig.12

Fig.13 のように引き出す際に層間紙が製品に絡んだ状態で引き出しを行なうと、コネクタの変形や破損等の恐れがありますので、製品と層間紙の引き出し方向を合わせないよう、ご注意願います。

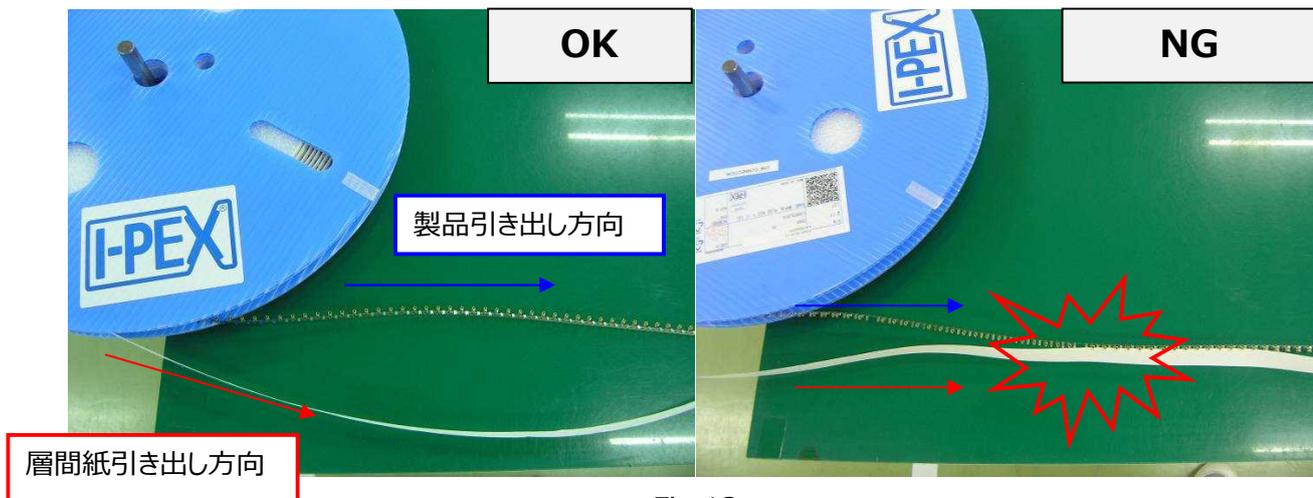


Fig.13